

県教育委員会賞

●研究テーマ

よみがえれ足羽中ビオトープ ～ホテルが飛ぶビオトープを目指して～

足羽中学校 科学部

仲保 暎哉	森田 翼	佐々木悠友	古谷 壮志
辻 優汰	植村 創太	森 侑大	
内田 祐輝	川端 洋太	黒川 賢三	桶 正輝
齋藤 和聖	玉木 京		
漆崎 空人	太田 和希	大谷 彩乃	

動機

近年放置されていた足羽中のビオトープは荒れてしまっていた。また、地域のホテルが減少していることを聞いて、どうすればいいかと考えた結果、ビオトープをきれいにして、その環境でホテルを育てようと考えた。

内容

ホテルが飛び交うビオトープを作るため、僕たちはビオトープの清掃と、餌となるカワニナとホテルの飼育を同時進行で行った。

ビオトープの清掃では、池のメダカを移動させ、池の水を抜いた。その後先生や保護者の手も借り、ヘドロ化した泥を除去し、池の中で繁殖した数千匹にも及ぶアメリカザリガニを駆除した。川底から岩が出てきたため、清掃は難航し、作業は2、3ヵ月かかったが、現在では清流のあるビオトープとなった。

ホテルとカワニナの飼育方法について詳しい方のお話を参考に飼育に取り組んだ。カワニナは繁殖させる事がとても困難だと知られているが、コンクリート片を入れるなど試行錯誤を重ねた結果、成功した。ホテルは文殊地区で捕まえ、卵からの飼育に挑戦した。温度管理や乾燥対策の結果、今回の研究では約1000個の卵から7匹の羽化に成功した。

まとめや感想

今回、ホテルの飼育をして、ホテルを育てるのはとても大変だと思った。ホテルを育てるまでは、ホテルについてあまり知らなかったが、これを機会に少しは詳しくなることができた。